



2023年11月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 七 十 七 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 小 林 英 文
(コード番号 8341 東証プライム・札証)
問 合 せ 先 総 合 企 画 部 長 田 辺 茂
(TEL 022-267-1111)

株主還元方針の見直しおよびROE目標の設定等に関するお知らせ

当行は、2023年11月10日開催の取締役会において、株主還元方針の見直しおよびROE目標の設定等について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の見直し

(1) 見直し内容

変更前	変更後
銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、 <u>安定的な配当を継続していくことを基本方針とする。また、財務基盤の強化を前提として、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2023年度まで30%を目標に段階的に高めていき、株主利益と資本効率の向上を目指していく。</u>	銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、財務基盤の強化を前提として、 <u>累進的配当により、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2025年度までに35%以上に引き上げるとともに、機動的な自己株式取得により、株主利益と資本収益性の向上を目指していく。</u>

※下線部が変更箇所

(2) 見直し理由

当行は、2022年1月に策定・公表いたしました「株主還元方針」に基づき、財務基盤の強化を前提として、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向の段階的な向上を進め、目標としておりました2023年度の親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向30%を達成する見込みとしております(2024年3月期予想:30.17%)。

今般、「『Vision 2030』～未来を切り拓くリーディングカンパニー～」に基づき、ステークホルダーの皆さまの期待に応える強固な財務基盤の構築と適切な株主還元に向けて、株主還元方針を見直すことといたしました。

引き続き、株主還元方針に基づく適切な株主還元に努めてまいります。

2. ROE 目標の設定等

(1) 「Vision 2030」で掲げる財務目標の新設・変更内容

	変更前	変更後
ROE (連結)	-	7%以上
自己資本比率 (連結)	10%以上	10%程度 (10.0%~10.5%)
当期純利益 (連結)	280 億円	450 億円
コア OHR	50%台	40%以下

(2) 設定等の理由

「Vision 2030」においては、財務基盤の強化として 2030 年度の目標を掲げておりますが、計画策定時点より、急速に社会環境・経営環境が変化していることに加え、グループ一体となったコンサルティング営業の実践等を通じ、主要な財務目標は計画を上回るペースで進捗しております(2024 年 3 月期業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益:270 億円)。

上記を踏まえ、将来にわたりステークホルダーに貢献していくためのより強固な財務基盤を構築するため、財務目標について見直しを行うとともに、より資本収益性を意識した経営の実践に向けて、新たに ROE (連結) 目標を設定いたします。

なお、「Vision 2030」については、上記目標設定を踏まえ、一部 KPI (Let's Try!) 等を追加・修正のうえ、2024 年 5 月に開示いたしますほか、今後も外部環境の大きな変化や今回見直す財務目標の進捗状況等を踏まえ、随時適切な目標設定を検討してまいります。

引き続き、地域社会の繁栄のため、最良のソリューションで感動と信頼を積み重ね、ステークホルダーとともに、宮城・東北から活躍のフィールドを切り拓いていく「リーディングカンパニー」を目指してまいります。

以 上